

# 社会資本総合整備計画

## (防災・安全交付金)

甲府駅へのアクセス向上を推進する街路整備  
事後評価書

令和3年10月

山梨県甲府市

# 社会資本総合整備計画（防災・安全交付金） 事後評価書

計画の名称	甲府駅へのアクセス向上を推進する街路整備																				
計画の期間	平成29年度～平成30年度（2年間）	交付対象	山梨県甲府市																		
計画の目標	<p>甲府市は、フォッサマグナ断層の落ち込みにより形成された地形で、近くには糸魚川－静岡構造線断層帯と、曾根丘陵断層帯がある地震地帯で、災害により想定される被害内容も様々である。また、本市は「首都直下地震緊急対策区域」・「南海トラフ地震防災対策推進地域」にも指定されていることから、水害・地震対策の実施をはじめとした、災害に強い街づくりが急務となっている。</p> <p>また、当該地区は甲府盆地内にあり、地区内には洪水危険箇所が点在する水害に弱い地区とされていることから、浸水被害等から住民の生命・財産を守るための避難路を整備し、災害に強い安全なまちづくりを進めるものである。</p>																				
計画の成果目標（アウトカム指標）	<ul style="list-style-type: none"> <li>近年の豪雨災害を踏まえ、洪水時の速やかな避難を実現し、都市の防災機能の向上を図るため、当該地区において避難路の整備を行う。</li> <li>道路への安心感を向上させ、市民意向調査における「道路の整備が進められている」の実感度を向上させる。</li> </ul>																				
アウトカム指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H29当初)</th> <th>中間目標値</th> <th>最終目標値 (H30末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>浸水想定区域外への避難性向上 ・H27年度道路交通センサスを基に平均旅行速度の向上を目指す。</td> <td>10.6km/h</td> <td>—</td> <td>14.8km/h</td> <td></td> </tr> <tr> <td>道の整備が進められているに対する市民の実感度の向上。 ・H28年度実施の甲府市市民実感度調査による「道路の整備が進められている」の実感度（満足度）を2.7ポイントから2.75ポイントへの向上を目指す。</td> <td>2.7ポイント</td> <td>—</td> <td>2.75ポイント</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>				定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)	浸水想定区域外への避難性向上 ・H27年度道路交通センサスを基に平均旅行速度の向上を目指す。	10.6km/h	—	14.8km/h		道の整備が進められているに対する市民の実感度の向上。 ・H28年度実施の甲府市市民実感度調査による「道路の整備が進められている」の実感度（満足度）を2.7ポイントから2.75ポイントへの向上を目指す。	2.7ポイント	—	2.75ポイント	
	定量的指標の現況値及び目標値				備考																
	当初現況値 (H29当初)	中間目標値	最終目標値 (H30末)																		
浸水想定区域外への避難性向上 ・H27年度道路交通センサスを基に平均旅行速度の向上を目指す。	10.6km/h	—	14.8km/h																		
道の整備が進められているに対する市民の実感度の向上。 ・H28年度実施の甲府市市民実感度調査による「道路の整備が進められている」の実感度（満足度）を2.7ポイントから2.75ポイントへの向上を目指す。	2.7ポイント	—	2.75ポイント																		
事後評価																					
○事後評価の実施体制、実施時期																					
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期																				
	令和3年度に実施																				
社会資本総合整備計画の事後評価として甲府市で実施	公表の方法																				
	評価完了後、市のホームページへ掲載																				
1. 交付対象事業の進捗状況																					
交付対象事業																					
A1 基幹事業																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	H29	H30	R1	R2	R3	全体事業費 (百万円)	備考						
1-A	防災	一般	甲府市	直接	甲府市	都市防災総合整備事業（甲府駅周辺地区）	避難路整備（L=180m）	甲府市						120.0							
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況																					
I アウトカム指標に関する 交付対象事業の効果の発現状況		<p>コロナ禍によるR2年度道路交通センサスの延期、市民実感度調査のR2年度未実施により、最終目標年次における定量的判断ができないため、朝日町通り線の交通量調査結果及び渋滞状況から、甲府駅南通り線と宝二丁目北新線の全線開通によって速やかな避難の実現が達成されていること、また、避難路整備による道路への安心感が向上し、当初現況値から現在に至る甲府市市民実感度調査の「道路の整備が進められている」の実感度（満足度）も着実に向上していることから、道路への安心感も向上しており、事業による効果は確実に現れている。</p>																			
II アウトカム指標 の達成状況		指標①		最終目標値	14.8km/h	目標値と実績値 に差が出た要因	<p>宝二丁目北新線の開通により、朝日町通り線の交通量が宝二丁目北新線に転換したことが、交通量調査の結果から窺える。この交通量の大幅な減少により、目標以上の平均旅行速度の向上につながったことは明らかである。</p> <p>コロナ禍により、令和2年度の市民実感度調査が実施されなかったが、令和元年度までの同調査において、「道路の整備が進められている」の実感度（満足度）は着実に向上しているため、現時点における実感度は、令和元年度の数値を最終実績値とする。これまでの実感度の上昇率を踏まえ、令和4年度末における目標値は、今後の朝日町通り線の整備により、達成されることが想定される。</p>														
				最終実績値	16.3km/h																
		指標②		最終目標値	2.75																
				最終実績値	2.73																
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		<ul style="list-style-type: none"> <li>特になし</li> </ul>																			
2. 特記事項（今後の方針等）																					
<p>甲府駅南通り線、宝二丁目北新線の全線開通により、当該地区における避難路の整備が進み、都市の防災機能の向上が進んだことが確実となった。引き続き、朝日町通り線の整備を加速させることで、甲府駅周辺における避難路の整備を完結させ、災害に強い安全なまちづくりを確立させるものである。</p>																					

(様式第8)

# 社会資本総合整備計画(活力創出基盤整備) 参考図面

計画の名称	甲府駅へのアクセス向上を推進する街路整備		
計画の期間	平成25年度 ~ 平成29年度	交付対象	甲府市

